

2010-11 年度テーマ



国際ロータリー会長：レイ・クリンギンスミス

第 2570 地区ガバナー：西川 武重郎

会長：鯨井 邦男

会長エクト：加藤 睦夫

副会長：村山 廣道

幹事：堀越 真

副幹事：庄内 邦雄

SAA：加藤 睦夫

TEL：048-525-7907 FAX：048-526-2471

URL：http:// www.kuma-west-rc.com/ E-mail：post@kuma-west-rc.com

No.14

第 1613 回 例会

(H22.11.1)

司会 森村 等 SAA  
 点鐘 鯨井会長  
 ソング 奉仕の理想

白いものが大分増えてきましたので、いつまで譲ってよいものか？また、いつ席を譲られるようになるのか？

「ありがとう」の言葉は、すてきだなと感じましたし、言ってもらえるような行動を常にもちたいと思います。

## 会長挨拶

鯨井会長



堀越幹事、前回の例会お世話になりました。また、浅井会員、パソコン教室ありがとうございました。役立てています。

本日は、橋本会員、森村会員イニシエーションスピーチよろしくお願ひいたします。

私は、週二日都内に電車通勤しております。読書やマンウォッチングで時間を費やします。先日のことですが、3人掛けのところに旅行に行くと思われる若い女性が2人でゆったり座っています。当然もう一人据われるわけです。立っている人も数人いましたがその席には行きません。(私もその一人です)二駅先で乗車されたご婦人がその前に進みなにやら会話。その後「ありがとう」とご婦人の声。そして座りました。若い女性の態度はちょっと気になりましたが、ご婦人の「ありがとう」の言葉にほっとさせられました。極力私の前に私より年上と思われる

方が来たときは席を譲るようにしていますが、私も

## 幹事報告

堀越幹事

- 11月のロータリーレートは、1ドル=82円です。
- 2011-12年度  
 第1回 PETS (会長エレクト研修セミナー) 開催  
 日時 11月19日(金)  
 登録 午後3時30分～ 記念講演及び会議  
 懇親会 午後6時30分～  
 場所 川越 氷川会館
- 上期特別会費の納入お願い  
 7月に地区に納入してある負担金です。

## 委員会報告

### 出席報告

加藤 恭保委員

例会日	総数	出席免除	欠席者	出席率	メークアップ
11/1	21	6 (3)	4	88.80%	3

### ニコニコBOX委員会

ニコニコボックス拠金報告

加藤 恭保委員

例会日		件数	金額
11/1	本日の報告	11件	19,000円
	本年度累計	106件	159,000円

## 親睦委員会

田代委員



### 誕生日

加藤 睦夫さん 昭和 33 年 (1958) 11 月 9 日  
堀越 真さん 昭和 35 年 (1960) 11 月 25 日

### 結婚記念日



加藤 恭保さん 11 月 3 日  
浅井 純次さん 11 月 28 日

### 鯨井 邦男さん

浅井さんパソコン教室ありがとうございました。有意義でした。堀越さんにはお世話になりました。森村さん、橋本さんイニシエーションスピーチよろしくお願ひいたします。

堀越 真さん //

### 加藤 睦夫さん

先日のパソコン教室は浅井さんにお世話になりました。ありがとうございました。

### 橋本 篤史さん

前回のパソコン教室、浅井さんのご指導ありがとうございました。今日は拙いスピーチで申し訳ございません。

### 吉田 正己さん

浅井さん、先日はありがとうございました。

### 森村 等さん

いつも大変お世話になり有難うございます。お手元に、11/5 夜開催の忘年、新年会内覧会のご案内並びにおせちの特価案内をご用意しましたので、ぜひご来館ご利用ください。

### 岡 千秋さん

パソコン教室行けなくて残念でした。

### 堀越 真さん

誕生日有難うございます。

加藤 睦夫さん //

### 浅井 純次さん

結婚祝いありがとうございます。

### 加藤 恭保さん

先週のパソコン教室、浅井さん大変お世話になりました。結婚記念日ありがとうございます。明後日娘も同じ日に結婚式を挙げます。

### 森村 等さん

ゴルフ同好会並びにコンペ参加の皆さん、先日はお疲れ様でした。また、和数奇司館のご利用誠に有難うございました。感謝申し上げます。

2010-11 年度テーマ



国際ロータリー会長：レイ・クリンギンスミス

第 2570 地区ガバナー：西川 武重郎

会長：鯨井 邦男

会長エクト：加藤 睦夫

副会長：村山 廣道

幹事：堀越 真

副幹事：庄内 邦雄

S A A：加藤 睦夫

TEL：048-525-7907 FAX：048-526-2471

URL：http:// www.kuma-west-rc.com/ E-mail：post@kuma-west-rc.com

No.14

第 1613 回 例会

(H22.11.1)

## イニシエーションスピーチ

## 橋本篤史会員

今日は貴重な時間を頂いてのスピーチということで、機会をお与え頂きありがとうございます。  
私は S 42 年 3 月 3 日、兵庫県神戸市で生まれました。

父親もサラリーマンで幼稚園までは和歌山県で、その後は小・中・高・大学まで神戸で育ちました。

神戸の東灘区というところにある実家には父親と母親、また父方の祖母が 100 歳で健在です。私は長男で弟がおりますが、芦屋市で焼き鳥屋を 2 軒営んでおりまして、たまに帰省する際の楽しみの一つです。

最近はおグシオのおかげで少し知られるようになりましたが、中・高そして大学の体育会で 10 年バドミントン部に所属し、一生懸命打ち込む学生時代を過ごしました。

今より 15 キロほどやせておりまして別人、軽やかなフットワークが自慢でした。

高校では県 3 位、大学では県 2 位がベスト、全国大会は 1 回戦突破できないレベルでした。今はまったくやっていませんが大好きなスポーツ、社会人になってから女子高のコーチをしたのが良い思い出です。

大学時代は特段の将来の目標もなく過ごしましたが、卒業したのは平成元年、バブル絶頂期で就職活動も超売り手市場と恵まれた状況でした。

ゼミの教授の「橋本君、生保は休みも多く仕事も楽だよ」との間違った情報を信じ、都銀の内定を断り、住友生命に就職致しました。

それだけを信じて就職したというのは冗談ですが、自分が一生の仕事にしようとしているのはこういうことだと感じたのは入社 3 年目、はじめて営業活動をしたときのことです。

一ヶ月だけ研修所に缶詰での保険販売をするという研修で、住宅地図を渡され自転車でもわり飛び込み営業をしました。冷たくあしらわれるばかりでしたが、あるご家庭に訪問したときのことです。

① 実は半年前にご主人が逝去されておりその際スミセイから保険金を受け取った、そのおかげでこの家が建ち私と娘 2 人元気に生きている。本当に感謝していると言って頂いた。私はご主人に勧めたわけでもないし保険金の手続きをしたわけでもないのに。

② 自分にとって保険の大切さは頭では理解していたけど、お客様から直接言われたことが衝撃だった。





- ③ 自分がやる仕事の意味はこういうことだと理解した。
- ④ 娘さん 2 人はそのあとご契約頂き、私の第一号・二号契約。  
ということがあり、忘れられない思い出です。

入社以来 21 年、8 回の転勤・10 回の引越しを重ね昨年熊谷にまいりました。  
入社して大阪本社に勤務したあと、鳥取支社・京都支社・千葉支社・東京支社・福岡支社・山口支社と勤務致しました。住んでみないとわからないそれぞれの土地の素晴らしさを感じることができるのが転勤族の良さだと思っています。  
ちなみに当社の転勤したいところナンバー1 は福岡、次が札幌です。

現在は県北に 12 の支部、内勤合わせて約 280 名の職員と共に担当エリア 4 万名の既契約者様にシミセイに加入して良かったと思って頂ける様に毎日活動しております。  
今後とも住友生命をよろしくお願い致します。

何分若輩ですので、ロータリーの皆様のご指導を賜りながら引き続き頑張っていく所存です。何卒よろしくお願い致します。

## 森村 等会員

### 「価値観と私」

私たちは、いつも物事を何気なく選択したり、評価したり、判断したりしながら行動しています。行動を起こす背景にはその人固有の「価値観」があります。

「価値観」とは、人が自分や他人、社会やあらゆる物事に対して持つ評価や判断の基本的枠組みであるとされています。言い換えれば、その人がこれまで通過してきた社会、文化、世界によって形造られたその人の行動基準とってよいでしょう。

「価値観」は、親が大切にしていたもの、家族の伝統の中で大切にされていたもの、地域社会の価値観、受けた教育、担任の先生、尊敬する先輩や恩師、友人、歴史上の人物、宗教などから影響を受け自分の中に段々と作られていくものです。

これから、私のこれまでの人生を振り返り、私の「価値観」に少なからず影響を及ぼした出来事をいくつかご紹介していきたいと思います。

#### ① 海外勤務

私は、1983 年から 1988 年まで英国のロンドンに 5 年間、1990 年から 1996 年まで 6 年間ニューヨークに赴任していました。

この間、国、文化、人種、宗教、生活・商習慣の違いに至るまで体験・体感しそれが私の一部になったことは申すまでもありません。(自分にその国の文化などが織りなすエッセンスが移植されたような気持ちです。)

#### ② 7 つの習慣との出会い

1996 年、ニューヨークから帰ると課長研修（「7 つの習慣」泊りこみのリーダーシップ研修）を



会社が実施してくれました。すべてが、新鮮で目から鱗の連続でした。

ここで学んだことは人生とは愛の実践であること。言い換えればそれは「奉仕」であり「自己犠牲」であり「社会貢献」であると。

また、人生の 3 分法の実践、すなわち最初の 25 年を自分自身の勉強（自己愛と自立）のため、次の 25 年を家族（家族愛）のため、最後の 25 年+を社会（社会愛と貢献）のためと位置付けるきっかけとなりました。

③ 外資系企業に勤務

2001 年から暫く外資系金融機関に勤務しました。所得は、それまでの数倍と大幅なアップとなりましたが、何か違和感を強く感じる毎日が続きました。

それは、働く意義についてでした。働く（意義）動機は、色々ありますが一番大切な動機は

1) 社会貢献、2) 自己成長、3) 生活の確保という順序での位置づけでした。

④ 洗礼

妻・二人の子供たちが、カトリックの洗礼を受けて久しい 2007 年に私は、洗礼を受ける決断をし、4 月の復活祭で洗礼を受けました。これもご縁の織りなす賜物と感謝しております。その結果、ある意味で家族全員が、同様の「価値観」を共有できるものと家族共々喜び合いました。

⑤ 熊谷西ロータリークラブ

熊谷での仕事もそうですが、ロータリークラブ入会は私にとって「人生 3 分法」推進の大きな力を得たと嬉しく思っております。「職業奉仕」・「社会奉仕」・「クラブ奉仕」・「国際奉仕」・「次世代奉仕」など通じて喜ばれる存在を目指します。また、ロータリークラブの「4 つのテスト」はロータリアンの正に「価値観」を表すもので共有できる最大のプレゼントと位置付けています。

以上のように本当の「価値観」で生きていると思う人に出会って、目が覚めるという体験をしました。その時には、それまで自分が大切にしてきたものを捨てなければなりません。

自分が、どんな価値観に多く影響されてきたのか、それを明確にすることによって自分を知ることができるでしょう。

自分の人生を精一杯、自分らしく、悔いのないように生きたいとは、誰もが望むことです。私たちの毎日の生活の中に起こってくる一つひとつの出来事に対して自分自身に誠実に自分の信念に従って、自分らしく生きるにはどう生きたらよいか。

永遠の難解なテーマですが真の価値あるものを追求し、選択し、はっきりさせることが大切です。真理を追究していく歩みにおいて、心の真底からこれこそ、自分に手放せない「価値観」だというものを見出した人は幸せです。そこから、人生の選択、決定、悔いのない生き方が生まれるような気がします。それは社会にとっても、人類の真の発展のためにも必要なことではないでしょうか。